

# 時季外れの大きな災害の早期復旧を願う



新政会  
よこざわ  
横沢 英一

## ◆災害状況について

**問** 熱海市盛土災害を受け県への報告の状況は。

**答** 土砂災害警戒区域の27箇所を報告した。軽微な指摘はあったが、大きな心配はないとの事である。

**問** 8月大雨災害の被害状況、概算復旧費、復旧時期の見込みについて。

**答** 被害件数約340箇所、復旧費の概算額は、国庫補助対象事業費を含め7億8千万円で、復旧時期は令和4年度の予定である。

(危機管理課)

**問** 幹線道路通行止め、代替道路153号の位置付けは。

**答** 中央自動車道、国道19号、県道、地域間を結ぶ主要幹線道路が全て通行止めとなり、関西方面へは行けなかった。

災害時の国道153号は「重要物流道路」にも指定されているにもかかわらず、善知鳥峠は、積雪や凍結に弱い。また、土砂災害危険箇所指定されており、安全性・信頼性に課題もある。「岡小野バイパス」の必要性は大きく、早期事業化に向け、関係機関に要望する。

**問** ◆上水道事業について 中長期の見直しをしたが、その結果は。

**答** 今後多くの施設が一斉に更新時期を迎え、多額の更新費用が必要となる。人口の減少により、更新財源が減少することが見込まれるが、水道料金は10年間改定を実施しない。

(建設課)



国道153号大渋滞、バイパスがほしい

(上水道課)

# 天災は忘れないうちにやってくる！



日本共産党  
おざわ  
小澤 彰一

その他の  
質問事項

- ▼ 改正障害者差別解消法について
- ▼ 国保榑川診療所再開に向けて

## ◆災害への対応について

**問** 8月中旬の集中豪雨被害の際には大雨警戒本部が設置されたが、短時間で市内各地で同時多発的に被害が発生した場合、医療機関で識別救急といわれる機能は持っているか。また、その際に優先する要素・基準はどのようなか。

**答** 災害発生時は、地域防災計画や職員初動行動マニュアルによって対応している。部局を横断した職員で構成する「危機管理総合対策チーム」を設置し、大規模災害時には情報収集、応急対策など、総合的な対応を行うことにしている。人命救助が最優先されるが、消防・警察などの助言を考慮し、対策本部で総合的に判断することとなっている。

**問** 大規模災害時には、自分の周辺で何が起きているかを知ることが重要。防災行政無線だけでは

きない居住地域の予告的情報提供が市内全域に必要なのではないか。

**答** 現在、市内の民間コミュニティFM放送業者と防災に関するFM放送導入について協議を行っている。

(危機管理課)

**問** 今回は夏季休業中だったが、児童・生徒の通学路の安全に関しては把握しているか。

**答** 校区内の危機箇所については、各学校において保護者と協力して把握し注意喚起を行っている。災害時は、危険だと判断した場合には登下校に際し、児童・生徒の安全配慮に努めている。

(教育総務課)



榑川長瀬のくずれ沢、鉄路に土砂が押し出した。